



優秀賞 (総合部門)

タイトル

再生・8坪町屋

タイプ

持家一戸建

講評

既存構造体と外周部は残し、水回りは刷新した。各所にローコスト化の工夫を織り込みながら、地元に住む同世代の若夫婦施主、設計者、施工者の協力が花開いて、狭小ながら町屋の再生という社会的行為に繋がった好例である。

リフォーム前後の写真



リフォーム前 正面外観



リフォーム前 1階6畳間から玄関方向



上・2階8畳間 下・1階6畳間



リフォーム後 正面外観 ①



リフォーム後 押入れ部分にキッチンを配置し、和室6畳間をLDKに ②



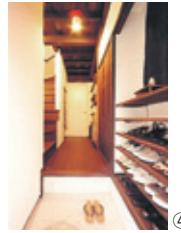
リフォーム後 ライフスタイルの変化に応じ、座卓にもなる上下可動式ダイニングテーブル ③



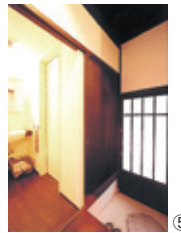
廊下から階段、LDKを見る ⑦



2階寝室 壁上げのみ、塗装・漆喰にて改修 ⑧



④



⑤



⑥

廊下 可動式壁面収納

リフォームの動機/設計・施工の工夫点/施主の感想 など

《動機》
老朽化した町屋を結婚した二人の門出に相応しい住まいに再生する。浴室の新設。

《設計施工の工夫》
町屋改修は広い意味での町並み保存や温暖化対策の視点からも大切な行為であり、新たな命を与えることで建築としての延命を強く意識している。建坪8坪程の極小のスペースを若い家族のライフスタイルに合わせた空間に低コストで再生することに配慮した。家事と団楽を両立するコンパクトな居間を生活の中特に配慮した住宅性能：

心に据え、可動式の棚にて効率的に収納を確保するなど狭さを快適さに変わるよう工夫した。1階の床壁には断熱材を施し、断熱性向上を図っている。光熱費の軽減の為、屋外機設置型電気温水器、IH使用。勾配を緩くし、安全な階段に。

《施主の感想》
快適でとても楽しい住まいになり、とても嬉しいです。

データ		構造/築後年数		在来木		造/年	
所在地	石川県金沢市	構造/築後年数		在来木	造/	50	年
該当工事面積	55 m ² /総工事床面積 55 m ²	該当部分工事費	350 万円/総工事費	350	万円	350	万円
居住者構成	15歳以上65歳未満: 2人/65歳以上: 人/15歳未満: 人/ベッド:						
設計者	林建築設計工房、奥村設計室	担当者	林 正人・奥村 久美子				
施工者	(有)S.H.C.C住まいの研究社 協同	担当者	吉村 正一郎				

リフォーム前

リフォーム後

